

今月のおもな記事

- 参議院選挙を振り返る(1面)
- 「地域医療構想策定」について(2面)
- 国民平和大行進(2面)
- あずみの里裁判署名はじまる(3面)
- 医学対大運動(4面)



長野県民医連

長野県民主医療機関連合会
2016年7月25日 第307号

事務局
〒390-0803 松本市元町2-9-11 民医連会館2F
☎0263-36-1390 FAX 0263-33-1229
Eメール kikanshi@n-mr.com
URL http://www.mintyo.or.jp/min-iren
[月1回25日発行 定価100円・加盟院所職員は会費に含む]

わたしの1票

初めて選挙に行きました



選挙権が18歳になり、初めて選挙に行きました。どこに、誰に投票すれば良いか、それで何がかわるのか、何も知りませんでした。投票を終えて最初に思った事は「疲れたな」でした。慣れないことで大変でしたが、それでも自分が投票した事で何かは変わったのだと実感しています。これからは少しでも自覚を持って、一人の国民として介護士として働いていきたいです。



自分の意思をしめしに

今回の選挙はいつもと違う特別なものでした。職場で署名活動に取り組み、勉強する中で、なにか行動しなければ、まず選挙に行くことから始めようと思いました。選挙結果を聞き、もっとたくさんの方がまず選挙に行くことから始めれば良いと思いました。結果が出てからでは何もできません。観客ではなく自分の意思をしめす場所、未来を創るのは自分が持っている1票なのではないかと思えます！

改憲勢力に歴史を歪めさせない



改憲勢力が2/3を占め、正直目と耳を疑いました。しかし、どの世論調査でも憲法9条の改正反対が多い。約半数の民意が反映されない制度の欠点が今回も明らかになったと思います。さらにほとんどのマスコミは、与党に都合がいい報道を行ってきました。この国を墮落したマスコミに握られ、学歴社会や格差社会の広がりから、物事を深く考えない国民がつけられていることに大きな不安を感じます。

改憲勢力は歴史を自分たちの都合がいいように塗り替えています。「嘘も100回繰り返すと本当になっちゃう。」じゃない! たくさんの方が殺し殺された真実を、その心の深い傷に、今一度勉強して触れてみる必要があると思います。

戦争させない 深く! 共同

7月10日、参議院選挙が行われました。史上4番目という低投票率のなか長野県は選挙区も比例も全国1位! アベ政治との真つ向対決に勝利した力で、戦争させない力強い共同を。

2013年には1人区で自民党以外の当選が2人だったことと比べると大きな前進です。長野県でも「憲法改正には興味がない」と軽薄な発言をした

安倍首相が、アベノミクスのアクセルをさらに踏み込むと強調した事は一層重大です。働く人々の収入が減り、年金が失われ、社会保障制度が後退し、総ての階層の貧困と格差が一層進む事が予測されます。最後の砦である民医連の役割はさらに大きくなります。知を力に、次は衆議院選挙です。

「戦争法の廃止を求める2000万人統一署名運動は全国で1400万、長野県では50万近くの到達になり、県別の人口比で全国トップクラスとなりました。県民医連の役員と共同組織の取り組みは、長野医療生協や飯伊民医連の職員目標達成をはじめ、全県で6万筆以上になり、全国の運動に貢献しました。

この運動は参議院選挙で「野党は共同」という市民運動につながり、長野選挙区では杉尾秀哉統一候補が実現し、その歴史的勝利にもつながりました。

参議院選直後の世論調査でも、安倍政権下での改憲反対は5割を超えています。昨年来の戦争法反対運動、そして参院選



を経て、市民運動の共同はますます深化しています。

このことに確信を持って、「戦争法廃止」「憲法を守る」世論と運動をさらに発展させていきましょう。

安倍政権下での改憲反対は5割超



全国から届けられた署名(5月時点)

参議院選挙をふりかえって

参議院選挙は小選挙区制の中で野党と市民が共同した力の強さを示すと共に、日本の平和と繁栄を妨げる火種を残しました。

安倍、自公勢力は、戦争法の是非と「自民党憲法改正草案」をひた隠しにする卑怯極まりない選挙運動を行いました。しかし、安倍政治の本質が明らかになった米軍基地問題の沖縄、震災・原発問題の福島では現職閣僚をやぶるなど、長野を含む11の1人区で、野党統一候補が勝利しました。

2013年には1人区で自民党以外の当選が2人だったことと比べると大きな前進です。長野県でも「憲法改正には興味がない」と軽薄な発言をした

安倍首相が、アベノミクスのアクセルをさらに踏み込むと強調した事は一層重大です。働く人々の収入が減り、年金が失われ、社会保障制度が後退し、総ての階層の貧困と格差が一層進む事が予測されます。最後の砦である民医連の役割はさらに大きくなります。知を力に、次は衆議院選挙です。

自民党候補は落選しました。満蒙開拓の悲惨な体験を持つ長野県民の、平和を願う良識ある判断の結果です。

しかし、自民公明、おおさか維新の会等の改憲勢力が、改憲発議可能な3分の2以上の議席を占めました。自民党憲法改正草案の危険な企みを広く地域に知らせ、改憲を許さない国民運動を大きくしましょう。

切開

公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人が、2015年度決算で5兆数千億円にのぼる巨額損失を出したことが明らかになりました。これは、「私たちの納めた年金保険料が、株の運用に失敗して5兆円の損失をだした」ということで、とてもない話です。▼そもそもこの年金は、老後の年金保障が目的であって、安定運用が原則です。ギャングブルに暴走し、高リスク運用で損失が出れば、年金削減や保険料引き上げを招きます。そのため、金融大国のアメリカですら公的年金の積立金を株を買うことはしていません。▼しかもこの公的資金を投入することによって、株価がつけられ、それは「アベノミクス」の株高の演出のために利用されています。また、この間の国会論戦で株価の下落局面で年金積立金が「買い支え」をしていることも分かりました。誰がどう考えてもひどい話です。▼国民には「年金財政が苦しい」といって年金支給削減や保険料引き上げを押しつけながら、「アベノミクス」維持のために国民の財産と将来の国民生活を危機にさらすことは、断じて許されません。(牧)

医学対大運動で8人の奨学生誕生!

奨学生になりました!

大学入学後の病院実習は医療者の力だけではなく「地域で」患者さんをサポートする姿勢や患者さんの心に寄り添う姿勢を学び、自分の目指す医療者像について考えるきっかけとなる貴重な経験となりました。

その後も民医連の活動に参加して尊敬する多くの先生方、先輩と出会い、お互いの思いを語り合える同級生とも出会えたことなどを通して奨学生になることを決意しました。

将来は学生時代に学んだことを活かして長野県で地域の人々に安心を与える医師になるとともに、全国の人々の健康と平和を求めて活動できる医療者になりたいと思っています。(E.K)

全日本民医連は第41回定期総会運動方針で、「新卒医師200人受け入れ、奨学生集団500人」を掲げ、この方針を達成するためのロードマップを策定して、取り組みを始めています。

ロードマップを進めていく上で不可欠な歩として、2015年10月から2016年4月までを期間として「中低学年で奨学生を増やし育てる大運動」が提起されました。

この提起を受けて長野県民医連では、2015年以内に3人の奨学生誕生を目標に取り組み、2人の奨学生を仲間に迎えることができました。また、新1年生では2016年4月中に6人が新たに奨学生となり、今回の大運動期間中に8人の奨学生を誕生させることができました。今回誕生した奨学生たちにとって学習会やフィールドワークなどは、医療だけではなく社会に向け、地域との関わりや医療人としての在り方などを考えるきっかけになっています。

今後は職員との交流のみならず、奨学生同士の交流を深め、将来一緒に働く仲間として育ちあえるような取り組みを進めていきたいと思っています。



福島フィールドワークへ



県連会館での医系学生ミーティング